



NS Solutions

## 2019年3月期第3四半期 (2018年4月～2018年12月) 業績概況

---

2019年2月1日  
新日鐵住金ソリューションズ株式会社

I

2019年3月期第3 四半期  
連結決算概況

Copyright © 2019 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

## I - 1. 2019年3月期 第3四半期連結決算業績

単位: 億円	2018/3期		2019/3期		対前年	
	第3四半期	累計	第3四半期	累計	第3四半期	累計
	A	B	C	D	C-A	D-B
売上高	518	1,683	626	1,873	+108	+189
業務ソリューション	325	1,093	422	1,235	+96	+143
サービスソリューション	193	590	205	637	+12	+47
売上総利益	103	338	128	377	+25	+38
<売上高総利益率>	<19.8%>	<20.1%>	<20.4%>	<20.1%>	<+0.6%>	<+0.0%>
販管費	65	200	64	200	-0	+0
営業利益	38	139	64	176	+26	+38
経常利益	40	144	65	181	+26	+36
親会社株主に帰属する 四半期純利益	32	98	45	117	+13	+20

Copyright © 2019 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

3

2019年3月期 第3四半期 累計 の業績(D欄)は、  
連結売上高1,873億円、営業利益は176億円となりました。  
売上高は、対前年同期+189億円の増収、営業利益は+38億円の増益です。  
売上高について詳細は、次ページ以降で説明致しますが、  
業務ソリューションで+143億円、サービスソリューションで+47億円の増収となりました。

売上総利益については、売上高総利益率が昨年と同水準の20.1%となり、  
増収効果で前年同期に対し+38億円増益の377億円となりました。  
販管費は、研究開発費、採用・教育費の増がありました、  
営業支援費が減少し、前年同水準となり、  
結果、営業利益は+38億円増益の176億円となりました。  
経常利益は、+36億円増益の181億円、  
四半期純利益は+20億円増益の117億円となりました。

また、第3四半期(10~12月)(C欄)としては、  
売上高が626億円と対前年同期+108億円の増収となりました。  
この増収のうち30億円は、今3Q期に大型プロダクト販売30億円があったことによります。  
粗利率は20.4%と前年同期19.8%に対し改善いたしました。  
なお、大型プロダクト販売30億円を除く売上高総利益率は、21.3%となります。  
販管費は、前年同水準となり  
結果、営業利益は64億円と対前年同期+26億円の増益となりました。

## I -2. 2019年3月期第3四半期 (10月~12月) サービス・顧客業種別売上高

単位: 億円	2018/3期		2019/3期		対前年差異		コメント
	第3四半期 (10月~12月) A	ウテ ITインフラ 64	第3四半期 (10月~12月) B	ウテ ITインフラ 70	第3四半期 (10月~12月) B-A	ウテ ITインフラ +6	
業務ソリューション	263	64	358	70	+94	+6	
産業・流通・サービス	143	44	156	46	+12	+1	ネット・サービス、旅行、小売り向けの増
金融	70	12	69	17	-2	+5	
公共公益他	50	8	133	7	+83	-0	官公庁案件及びテレコム積み上がり
サービスソリューション	181		194		+14		
ITインフラ	75	<64>	78	<70>	+3	<+6>	プロダクト、DaaS/VDIの増
鉄鋼	106		116		+10		NSSMC向けの増
子会社等	74		74		+1		
合計	518		626		+108		
(参考)NSSMC向け	(103)		(115)		(+12)		
受注高	575		639		+64		

Copyright © 2019 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

4

3Q(10~12月)期での売上高を詳細にみてみます。

売上高は、626億円で対前年同期+108億円となりました。

業務ソリューションは、+94億円の増収です。内訳は、

産業、流通・サービスが、ネットサービス、旅行、小売りを中心に堅調で+12億円の増収、

金融は、前年同水準で-2億円の減収

公共公益他は、今3Q期も大型プロダクト販売30億円があったことに加え、

官公庁向けの基盤系案件が活発でした。

また、テレコムも拡大し、公共公益他で+83億円の増収となりました。

サービスソリューションは、+14億円の増収です。

ITインフラがプロダクト、DaaS/VDIの増で+3億円の増収、

鉄鋼が+10億円の増収となりました。

子会社等は、+1億円です。

3Q期の受注高は、639億円で対前年同期+64億円の増となりました。

内訳は、

業務ソリューションは+42億円。産業流通で+10億円、公共公益で+20億円、

金融はほぼ同水準でした。

なお、公共公益には、大型プロダクト50億円の受注がありました。

サービスソリューションは+23億円、内鉄鋼で+20億円となりました。

### I -3. 2019年3月期第3四半期（累計） サービス・顧客業種別売上高

単位：億円	2018/3期		2019/3期		対前年差異		コメント
	累計	ウチ	累計	ウチ	累計	ウチ	
	(4月～12月) A	ITインフラ	(4月～12月) B	ITインフラ	(4月～12月) B-A	ITインフラ	
業務ソリューション	901	217	1,035	246	+134	+29	
産業・流通・サービス	421	127	474	161	+53	+34	ネット・サービス、旅行、小売り向けの増
金融	244	60	212	52	-32	-8	メガバンク統合案件のピークアウト
公共公益他	237	30	350	33	+113	+3	官公庁案件及びテレコム積み上がり
サービスソリューション	557		605		+48		
ITインフラ	231	<217>	236	<246>	+5	<+29>	プロダクト、DaaS/VDIの増
鉄鋼	327		369		+42		NSSMCグループ向けの増
子会社等	224		232		+8		
合計	1,683		1,873		+189		
(参考)NSSMC向け	(322)		(361)		(+39)		
受注残	1,258		1,358		+99		

Copyright © 2019 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

5

3Q期累計をサービス・顧客業種別でみてみますとこちらようになります。

産業、流通・サービスは、ネットサービス、旅行、小売り向けが上期から引き続き堅調で  
+53億円の増収

金融は、一部メガバンク統合案件のピークアウトがあり、上期を中心に-32億円の減収、  
公共公益他は、大型プロダクト販売が上期は昨年と同じく60億円、今3Q期は30億円あり、  
加えて、官公庁向けの基盤系案件及びテレコムの積み上げで+113億円となりました。

ITインフラは、+5億円の増収、またITインフラ連携によるプロダクト販売が好調で、  
これを加味いたしますと、対前年同期で+34億円の増収です。

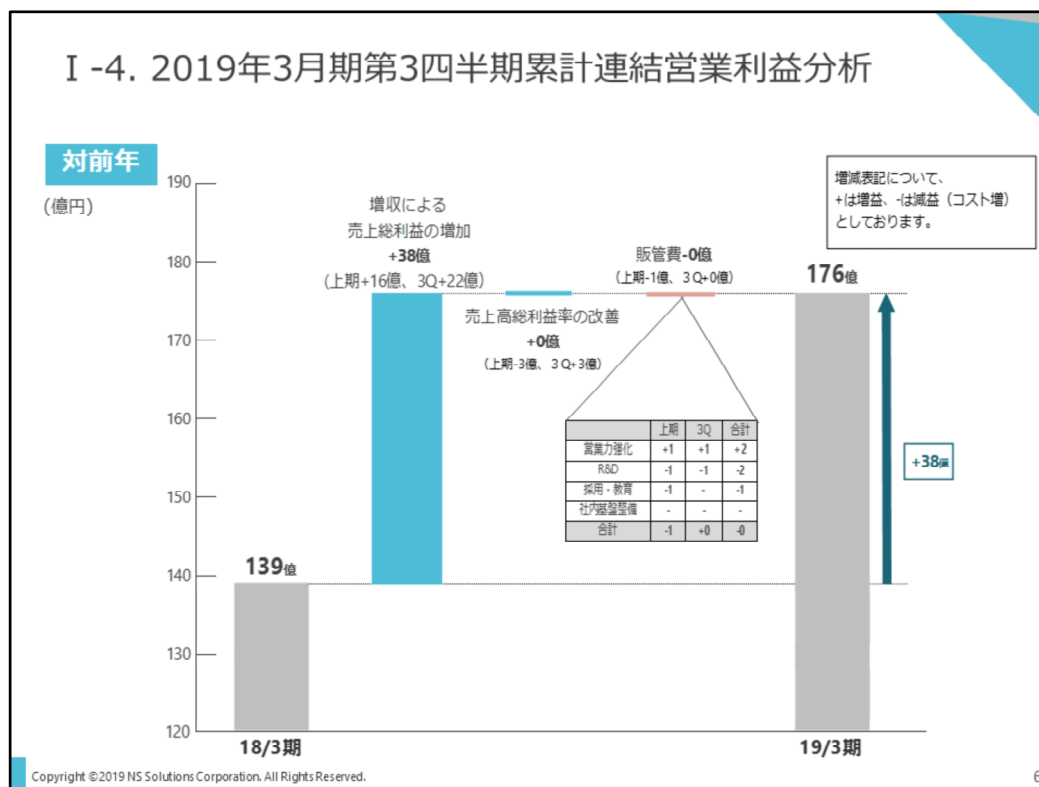
鉄鋼は、新日鉄住金グループでの活発なIT投資により+42億円となりました。  
なお、新日鉄住金向けの売上は、361億円と対前年同期+39億円となりました。  
子会社等は、+8億円の増収となりました。

3Q期末受注残高は、1,358億円で対前年同期+99億円の増となりました。

内訳は、

業務ソリューションは+58億円。産業流通で+30億円、公共公益で+20億円です。  
サービスソリューションは+42億円、内鉄鋼で+40億円です。

## I -4. 2019年3月期第3四半期累計連結営業利益分析



連結営業利益の対前年同期分析です。

3Q累計の営業利益は、  
昨年の139億円から+38億円増益の176億円となりました。

売上総利益は、  
増収+189億円に伴う売上総利益額増加で +38億円  
売上高総利益率は、3Q累計で昨年と同水準の20.1%となり、  
率差は発生しませんでした。  
この結果、売上総利益としては +38億円となりました。

販管費は、研究開発費、採用・教育費の増がありました、  
営業支援費が減少し、3Q累計で昨年同水準となり、  
結果、営業利益は+38億円増益の176億円となりました。

## I -5. 2019年3月期 連結業績見通し

単位: 億円	2018/3期実績	2019/3期見通し	対前年差異
	年度実績 A	年度見通し B	年度差異 B-A
売上高	2,442	2,580	+138
業務ソリューション	1,611	1,705	+94
サービスソリューション	831	875	+44
売上総利益	491	510	+19
<売上高総利益率>	<20.1%>	<19.8%>	<-0.3%>
販管費	264	270	+6
営業利益	227	240	+13
経常利益	231	245	+14
親会社株主に帰属する 当期純利益	149	160	+11

Copyright © 2019 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

7

2019年3月期 通期での業績見通しですが、上期決算時の公表値

・売上高 2,580億円

・売上総利益 510億円

・販管費 270億円

・営業利益 240億円

・経常利益 245億円

から変更はございません。

## I -6. 2019年3月期下期見通し サービス・顧客業種別売上高

単位: 億円	2018/3期				2019/3期				対前年差異			
	上期	3Q	4Q	下期	上期	3Q	4Q見通し	下期見通し	上期	3Q	4Q	下期見通し
	A	B	C	D	E	F	G	H	E-A	F-B	G-C	H-D
業務ソリューション	638	263	437	700	678	358	390	747	+40	+94	-47	+47
産業・流通・サービス	277	143	168	311	318	156	166	322	+41	+12	-2	+11
金融	174	70	91	161	143	69	93	162	-31	-2	+3	+1
公共公益他	187	50	178	228	217	133	130	263	+30	+83	-48	+35
サービスソリューション	377	181	225	406	411	194	220	414	+34	+14	-5	+8
ITインフラ	156	75	95	171	158	78	94	172	+2	+3	-2	+1
鉄鋼	221	106	130	235	253	116	126	242	+32	+10	-4	+7
子会社等	151	74	97	171	158	74	98	172	+7	+1	+1	+1
合計	1,166	518	759	1,277	1,246	626	707	1,334	+81	+108	-52	+57
(参考)NSSMC向け	(219)	(103)	(135)	(237)	(246)	(115)	(125)	(239)	(+27)	(+12)	(-10)	(+2)

Copyright © 2019 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

8

売上高の見通しについて、もう少し詳しくご説明いたします。  
 昨年度下期は、全体で1,277億円と高い水準になりましたが、  
 3Q期の売上高が518億円と比較的低水準であったことに対し  
 4Q期で公共公益が178億円と売上計上が積み上がったこともあり  
 4Q期の売上高は759億円と高い水準になりました。

今年度の4Q期につきましては、  
 公共公益を除きますと、各セグメントともほぼ昨年4Q期水準を目標としております。  
 公共公益については、大型プロダクト販売30億円を除き下期で同水準を目標としております。

3Q期末受注残は、P5で見えていただきました通り  
 1,358億円と前年同期+99億円の増となりました。  
 この受注残の内、4Q期での売上高は前年同期に対し-10億円程度減少の見通しです。  
 従いまして、増分は来年度以降に寄与する見通しです。



## 参考

### ◆ 特別損益事項

- (1)保有株式売却 (特別利益+ 1 0 億円)
- (2)オフィス整備費用 (特別損失- 1 0 億円)

### ◆ 自己株式の取得状況

#### (1)自己株式取得(2018年 8 月 2 日取締役会決議)

- ①取得する株式の種類 普通株式
- ②取得する株式の総数 4,700,000 株(上限)  
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 4.96%)
- ③株式の取得価額の総額 10,000 百万円(上限)
- ④取得期間 2018 年 8 月 6 日から2019 年 3 月22 日まで

#### (2)上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計 (2018年 1 2 月 3 1 日現在)

- ①取得した株式の総額 1,967,000株
- ②株式の取得価額の総額 6,493,830,000円

## 下期以降 主要プレスリリース

- 10月9日 Oracle Partner Awards  
「Business Value Excellence Award 2018」受賞
- 10月10日 エプソン、機械学習プラットフォームDataRobotにより  
予測精度を50%以上向上
- 10月18日 機械学習プラットフォームDataRobotを旭化成に導入
- 10月31日 JBSとNSSOL、企業の働き方改革に必要なサービス拡大を  
目指し業務提携
- 1月11日 「えるぼし（段階2）」の認定取得
- 1月15日 NSSOL、東南アジアでのAIデータ分析プラットフォームの  
提供開始

本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。



<https://www.nssol.nssmc.com/>

NS Solutions、NSSOL、NSロゴは、新日鉄住金ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。  
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。